

# エコニュース さって



第 37 号

平成 23 年 5 月 2 日  
幸手市市民環境会議  
(さって市民環境ネット)  
TEL48-0331

## 菜の花だより

### 菜の花から採った油で、かんたん料理！ 第 3 回市民環境講座 2 月 26 日

前号で掲載した幸手小学校に続いて、すこやか「食」の会（原スズ子会長）のみなさんの助けを借りて、権現堂で収穫したナタネ油を使った料理の試食会をしました。

第 3 回市民環境講座は、昨年 5 月 30 日に行った「ナタネの刈取り」に参加したメンバーをはじめ、約 30 人が集まり、刈取り以降の活動経過を確認しました。

菜種は、その後、選別をして 11 月に搾油して、約 70 本（270ミリリットル入り）の菜種油になりました。10 月には、有志の人が種を播き、施肥・草取りをして栽培しています。

今年も 5 月の末に、刈取りを行うこと、本講座の参席者にそのサポーターになってもらうことを申し合わせました。

さて、お待ちかねの試食、すこやか「食」の会のみなさんが今日の日のために何度も試作をかさねた料理が勢ぞろい、ココアケーキ、納豆やツナを具にした揚げギョウザ、パンの耳のから揚げ、そして焼きねぎ。大人も子どもも舌鼓を打ち、あっという間に平らげました。

刈り取りに参加した人は、油を 1 本ずつ持ち帰りました。参加できなかった人にも後日油をお配りしました。今年もよろしく願いいたします。（本田）

## 募 集

### 第 2 回 みんなの力でなたね油を！

権現堂・菜の花畑で、今年も菜の花の刈取り、種の採取、トウミによる種の選別を楽しみましょう。

日 時；5 月 29 日（日）午前 9 時～12 時

\*天候不順等による順延は 6 月 5 日（日）

会 場；幸手市権現堂堤の菜の花畑（上船渡橋側）

集合場所：権現堂公園第 3 駐車場（五霞町役場行きバス停留場近く）

集合時間：午前 9 時（受付 9：00～9：30）

申込み締切日：5 月 26 日（木）

募集人数：子供達を含め多数の方の参加をお待ちしています。

\*刈り取り作業ができる服装でおいでください。（帽子、タオル、軍手、水筒など）

参加費：100 円

申込み：さって市民環境ネット・本田（Tel：42--8412）

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、幸ネット（子育て支援ネットワーク）、いきがい・はなみずきの会

## 第67回腐葉土づくりの会

今年度2回目の熟成腐葉土の頒布を行いました！

4月17日(日)9時に、前日まで25度を超す初夏の陽気が平常に戻った晴天の下で、27名参集して作業を行いました。

冒頭、会長の挨拶後、事務局から作業内容と手順の説明があり、3グループに分かれて第1基(2月頒布の残り)、第2基からの熟成腐葉土の袋詰を行う男性群と一部の女性のグループ、第3基と第4基の切返しの力作業を行う男性グループ、畑の草取りの女性群が中心のグループで作業を行いました。今回の熟成腐葉土は、45L入りが78袋でき、連休中の家庭菜園や家庭園芸に使われます。当会の運営資金として100円/袋頂きました。第3基と第4基は5月以降、会員の皆様への頒布とともにサツマイモや奥マメを栽培する畑の土壌改良材などに使っていきます。ジャガイモ畑やこれから使う予定の畑の草取りは、今、とらないと繁茂してタネも落ち、夏の草取りが大変なので実施しました。

なお、今回、芽欠きを予定していたのですが、3月が寒くて、しかも雨がほとんど降らなかったため芽の伸びるのが遅れていて、まだ全体的に土の表面に葉が出た程度で小さく、葉が出てないものも少しありました(去年は、雨が多くて種ジャガイモが腐ってしまい収穫が遅れ、収穫したイモのサイズも小さかったことを思い出します。)

芽欠きと追肥、土寄せは有志によって、29日(昭和の日)の9時から行うことを案内しました。

次回は、天候都合と地主が畑を耕す都合もありますが、5月15日(日)とし、サツマイモ苗植えを予定しました(澤村)。

## 第66回腐葉土づくりの会

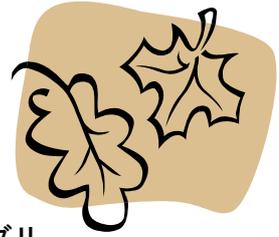
東日本大震災の被災者へのお見舞いと亡くなった多くの方々への哀悼の黙とうを行った後、切返し作業を行いました！

3月27日(日)9時に、3月末にも関わらず例年より寒い中16名が参集し、切返し作業を行いました。

冒頭、事務局からの願いで東日本大震災の数10万人の被災者へお見舞いをするとともに、行方不明者を含めて2万7000人以上の亡くなったの方々への哀悼を表して黙とうを行いました。また会長から、福島原発の事故のために福島県富岡町から避難された約80人の方々を受け入れた老人福祉センターで、幸手社協からの要請により、「さて市民環境ネット」として炊き出しのボランティアを行った旨の報告がありました。また、木村さんから某NPO法人から被災者への提供物資運搬を委託され、東北地方へ向かったが被災地の道路状況のひどさと運搬の困難さの報告がありました。

事務局から、5月の連休中の家庭菜園や家庭園芸用の熟成腐葉土準備のために4月の当会において1基目の残された熟成腐葉土とこれから約1カ月で熟成する2基目の腐葉土を頒布をするとの説明があり、切返し作業手順の案内があった後、実作業に入りました。すなわち、第2基目は内部の切り返し、第3基と第4基は混合しての切り返しを行いました。切返し作業は男性群が中心に女性群の支援でマンノとフォークを使って行いました。また女性群は踏み込み作業を行いました。

第2基目は、かなり腐植が進んでいましたが、第3基と第4基はまだ落ち葉が残っていて熟成には5月以降になることを確認しました。作業終了後、次回は4月17日(日)に熟成腐葉土の頒布と、第3基及び第4基の切り返しを行うのでより多くの会員数の参集をお願いし散会しました。また、ジャガイモが天候にもよりますが、3月5日の種イモ植付けから1ヶ月後に芽が出て、17日頃はわき芽欠き、土寄せ、追肥がある旨を案内しました(今年は寒くて、雨が少ないので遅れる可能性があります。)(澤村)



## 第65回腐葉土づくりの会

今年も種ジャガイモ30kgを植え付けました！

3月5日(土)10時に、3寒4温の寒い日に該当し、朝は氷がはった中で20名が集まってキタアカリ20kg、メイクイン5kg、男爵5kgのそれぞれの種ジャガイモを植え付けました。

前週の日曜日、地主に畑を耕して貰った後、月曜日、火曜日の2日間、雨が降ったためまだ、畑の土が乾燥せず湿った状態で、早朝は一部表土が凍ってぬかっていたましたが、作業を開始した頃は、ぬかるみが略解消されました。

冒頭、環境講座について2月26日(土)の出席のお礼と3月19日(土)の開催案内があった後、事務局から種ジャガイモ植付け作業手順の説明があり作業に入りました。

女性群はキタアカリ、メイクイン、男爵の順番で芽を残して1個50g程度のカットと出来るだけ光を当てて殺菌し、さらに殺菌灰を塗る役を担当しました。男性群は縄を張って鍬を使って幅80cm間隔で畝作り(両側から土を寄せて山を作る)行い、畝の山を鍬でならし、約30cm間隔で10cm程度の穴を掘り、穴と穴の間に化成肥料(N:P:K=8:8:8)をひと握りずつ施肥しました。その後、女性群が中心になって穴への種ジャガイモの植付けを行い、施肥箇所とともに土被せを行いました。

なお、昨年度の畝づくりは、鍬で一方向に掘って溝に約30cm間隔で種ジャガイモの植付けを行ったのですが、その後雨降りが多くて、種イモが水浸しになって多くが腐ってしまったので、結果的に生長の遅れで収穫を2回にしたこととできたイモが小さかったことを反省して、今回は雨降りが続いても水が溜まらないように畝の上に穴を掘って植えることにしました。

作業が終了後、次回は5月の連休中の家庭菜園用の熟成腐葉土準備のために4月に頒布が必要なため、3月27日(日)に開催し切り返し作業を行うことを約束して散会しました。(澤村)

## 第64回腐葉土づくりの会

今年度、最初の熟成腐葉土の頒布を行いました！

2月20日(日)10時から、2月にしては寒さが少し和らいだ中、26名の参集があり、今年度最初の熟成腐葉土の頒布を行いました。

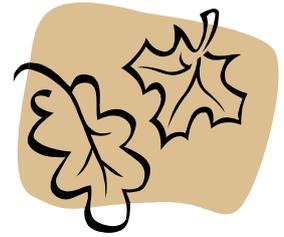
冒頭、会長から参集のお礼と2月26(土)午後1時からの、環境講座「菜の花プロジェクト報告会&搾油した油でかんたん料理」の再度案内があった後、事務局から実施要領の説明があり作業を開始しました。

今回は、4基の床の左端(1基目)の9月と10月に落ち葉を仕込み、3回の切り返しを行った熟成腐葉土の頒布と、2基目内の切り返し、3基目と4基目の混合切り返しを行いました。今年は45Lの熟成腐葉土で少し重いということで30Lにして女性群が中心になり50個の袋詰めをしました。男性群は2基~4基の切り返し力作業を行いました。

運営資金として1袋100円、1人当たり2袋を平均して頒布しました。また昨年度、残された熟成腐葉土6袋は1袋150円で頒布しました。これらは、2月末~3月にかけてのジャガイモ栽培等の土壌改良剤(乾燥汚泥土及び米糠も仕込んでいるので腐植によって一部堆肥に近いものになって元肥になる。)に使うことをお願いしました。

さらに、環境課で借りたプラスチック製籠8個に2基目の半熟成腐葉土を詰めて、5袋の乾燥汚泥土とともに女性群が中心になってジャガイモ栽培予定畑に散布しました。

事務局から、次回は3月5日(土)又は6日(日)に種ジャガイモ植えを、後日天候次第で開催日を決めることを案内して散会しました(澤村)。



## 第5回 中川探検ウォーク

**春の中川は、生き物たちの生命に満ちて！**

< 東公民館～クヌギ林 4月16日(土) >

昨年、中止になった第4回から、1年越しの第5回中川探検ウォークが4月26日に行われました。天気予報では連日[雨～曇り]の表示ばかりが続きましたが、当日は晴天に恵まれ陽光あふれる一日となりました。今回は22名の参加者があり、春の日差しいっぱいの中川散策を楽しみました。

探検ウォークでは毎回、指導者として、山本裕隆氏、青柳進氏をお招きしています。今回も、お二人には観察のポイントごとに樹木の生態や特徴、野鳥の生態やフィールドスコープを使用しての観察などについて、盛りだくさんのお話をうかがいました。観察できた野鳥は17種類、鳴き声だけ確認した2種類を加えて、なんと197種類になりました。青柳さんからは「水辺を中心とした野鳥が多い。」とい中川の歴史う感想をいただきました。山本さんからは、屋敷林の構成について「強い季節風の吹く方向には常緑樹があり、夏の日射しが強い方向には、日射しを弱める役目の樹木を植える。」という説明をいただきました。

今回は、地元の東光院住職の奥原様より、中川の昔話をしていただく準備を進めてきました。中川散策を満喫し、身も心も中川色に染まった頃、東光院に着きました。奥原様の母堂の世代では今より川幅が狭かったこと、奥原様が子どもの頃には水がきれいで川で泳げたこと、昭和22年の台風の時もう少しで川の水が溢れるところだったことなど、たくさんのお思い出や体験を語っていただきました。

奥原様にはお忙しい中、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

今回参加した皆さんからは、「みんなといっしょに楽しく散歩ができた。」、「自然の楽しさを見つけた。」、「半日、良い気持ちだった。」など歩きながら自然に親しむことの楽しさについて感動がたくさんあり、次回の参考になりました。

最後に、幸手市の貴重な自然の映像記録に毎回ご協力いただいている大山裕美様には感謝申し上げます。  
(石井)

予 告

5月28日(土) 第3回 ホウネンエビ観察会

**田んぼの妖精を探しに出かけましょう！**

～5月の水田には、妖精がたくさん泳いでいます～

集合場所 西公民館 9時30分集合

会費 100円

問合せ 42-8412 本田(さて市民環境ネット)

市民環境会議・さて市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ(幸手市HP)、エコライフDAY、中川探検、腐葉土づくり、浮島づくり、グリーンコンシューマー運動、菜の花プロジェクトなどの活動に取り組んでいます。あなたも参加してみませんか。いつからでも誰でも参加できます。

問合せは、本田(42-8412)まで。